

2) Awards

- Masayasu Mimura, 2008 年度台湾数学会外国研究者賞 (2008)
- Naoki Kyoya, Kenta Chishima, and Kaoru Arakawa, “2008 DSPTS Educators Conference Texas Instruments Japan Best Demonstration Award”, Implementation of Face Aesthetic Filter for Video with DSP in the 10th DSPTS Educators Conference, (September, 2008)
- T. Nakagaki, Ryo Kobayashi, A. Tero, A. Ishiguro, A. To’th and H. Yamada, “Ig Nobel prize” (October, 2008)

3) Lectures

- Y. Okabe, 「複雑系現象の時系列のモデル解析」 階層構造の科学+現象数理学研究会, Japan (Nov.30-Dec.1,2008)
- Y. Okabe, 「地震・株価・脳波の異常を数学で捕捉可能か」 明治大学ホームカミングデー記念講演会, 生明祭理工学部&農学部共催講演会, Japan (2008-11)
- Yasunori Okabe, On a time series analysis for complex phenomena based upon the theory of KM2O-Langevin equations, Fifth International Conference of Applied Mathematics and Computing, Plovdiv, Bulgaria, (2008-08)
- Y. Okabe, 「経済時系列の実験数学的研究と般若心経---複雑系現象の時系列の異常の前兆の補足とダイナミクスの導出」 Meiji University Liberty Academy Business Program, (Apr.-Jun.2008)
- M.Mukaidono, 「『リスク』の理解が未来を開く ~リスクの概念とリスクアセスメントの基本~」 リスクアセスメント推進大会 2008, 豊田労働基準監督署, 豊田労働基準協会, 豊田市民文化会館, Aichi, Japan (2009-03)
- M.Mukaidono, 「安全の理念について」 学術会議 総合工学委員 工学システムに関する安全・安心・リスク検討分科会, Japan (2009-03)
- M.Mukaidono, 「安全と安心の架け橋」 日本工学アカデミー 第4回安全工学フォーラム, 安全知の認知・創域作業部会, 弘済会館, Japan (2009-03)
- M.Mukaidono, 「安全を創る真実はいずこに ~個人の責任と企業の役割のはざままで~」 化学生物総合管理学会・社会技術革新学会 2009 年度春季討論会, 学術総合センター, Japan (2009-03)
- M.Mukaidono, 「化学・生物総合管理の再教育講座」 シンポジウム, Meiji University Liberty Academy, Ochanomizu University, Japan (2009-03)

- M.Mukaidono, 「消費者用製品のリスクアセスメントに関する今後の展望」 『事故の事典』発行セミナー:製品事故をどう防ぐか, 日経ものづくり, Tokyo Conference Center, Japan (2009-03)
- M.Mukaidono, 「経営に求められるものづくり安全 ～安全文化を育む～」 安全衛生トップセミナー, JISHA, Otsu Prince Hotel, Japan (2009-01)
- M.Mukaidono, 「製品安全～企業は今,何をなすべきか～」 ものづくり安全における我が国の現状と将来, SOSTAP, Japan (2008-12)
- M.Mukaidono, 三菱総研倶楽部月例セミナー, Mitsubishi Research Institute, Japan (2008-12)
- M.Mukaidono, 「製品安全対策優良企業表彰受賞企業の講評」 第3回製品安全総点検セミナー, Ministry of Economy, Trade and Industry, JA Hall, Japan (2008-11)
- M.Mukaidono, 「安全規制における共通の考え方について」 NITE リスクマネジメント勉強会, NITE, Japan (2008-11)
- M.Mukaidono, 「機械安全と包括的安全基準 機械安全とリスクアセスメント」 Meiji University Liberty Academy, Meiji University Liberty Tower, (2008-11)
- M.Mukaidono, 「長期使用製品の安全性確保」 Yamaha Motor Co.,Ltd., Iwata, Communication Plaza, Japan (2008-11)
- M.Mukaidono, 「機械安全に関する国内外の動向」 JIMTOF2008 における主催者セミナー, JMTBA, Tokyo Big Site, Japan (2008-11)
- M.Mukaidono, 「総合司会 ものづくり安全最前線 ～グローバルスタンダードの潮流の中で～」 日経産業新聞フォーラム, Nikkei Inc., 日経ホール, テイジンホール, Japan (2008-10)
- M.Mukaidono, 「安全学のすすめ」 第7期産業安全保険エキスパート養成コース, The Institute for Science of Labor, 新宿パークタワー, Japan (2009-10)
- M.Mukaidono, 「安全学概論 製品の安全学入門」 Meiji University Liberty Academy, Meiji University Liberty Tower, (2008-10)
- M.Mukaidono, 「サービスロボットのリスクアセスメント」 イノベーション・ジャパン2008, 東京国際フォーラム, Japan Science and Technology Agency, Japan (2008-09)
- M.Mukaidono, 「『安全学』の構築に向けて」 鉄道総研セミナー, RTRI, Japan (2008-09)
- M.Mukaidono, 「製品安全確保のための品質リスクアセスメント」 北米・中南米・欧州 MD 経営責任者品質マネジメント学習会, Panasonic Corporation, Japan (2008-09)
- M.Mukaidono, 「企業競争力を高めるホンモノづくり」 ～製品安全の観点から見たホンモノづくり～ 『つくる』第1回シンポジウム, Nikkei Inc., 日経ホール, Japan (2008-09)

- M.Mukaidono, 「設計から寿命までの安全」 品質つくりこみ最前線 2008, 日経ものづくり主催セミナー, 東京コンファレンスセンター品川, Japan (2008-07)
- M.Mukaidono, 「次世代ロボットと安全問題」 講演会, Denki-Club, Japan (2008-07)
- M.Mukaidono, 「事故と安全, 製品安全とリスクマネジメント」 消費者実務研究会, 厚生年金会館, Japan (2008-07)
- M.Mukaidono, 「今, 企業もとめられるものづくり安全」 中産連会員懇談会, Chu San Ren, 中日パレス, Japan (2008-07)
- M.Mukaidono, 記念講演 「イノベーション都市川崎～ロボット産業展開の可能性～」 20周年記念式典, Institute of Industrial Promotion Kawasaki, 川崎市産業振興会館ホール, Japan(2008-07)
- M.Mukaidono, 「安全／安心・リスクと企業経営全体討議」 第24回 FMES(経営工学関連学会協議会)シンポジウム, 日本学術会議総合工学委員会, Science Council of Japan (2008-07)
- M.Mukaidono, 「『安全学』という学問は成立しうるか?」 第23回 KIT 虎ノ門サロン, 金沢工業大学, Japan (2008-06)
- M.Mukaidono, 「長期使用製品の安全性確保」 製品安全特別セミナー, Panasonic Corporation, Japan (2008-06)
- M.Mukaidono, 「安全設計の考え方」 第12回安全・環境問題規制検討会, Research Institute of Economy, Trade and Industry, Japan (2008-06)
- M.Mukaidono, 「安全学のすすめ」 第6期産業安全保険エキスパート養成コース, 労働科学研究所, 新宿パークタワー, Japan (2008-06)
- M.Mukaidono, 基調講演 「長期使用製品の安全性確保について」 UL 製品安全セミナー2008, UL-Japan, 明治記念館, Japan (2008-05)
- M.Mukaidono, 「労働安全の新しい流れ」 経営戦略スタッフ会議, Mitsubishi Materials Corp., Japan (2008-05)
- M.Mukaidono, 「ものづくり安全～安全な職場で安全な製品を安全に作る～」 2008年度ソニーセーフティ実務担当者勉強会, Sony Facility Management Corp., 刈谷市産業振興センター, Japan (2008-05)
- M.Mukaidono, 「安全学入門 ～安全学の構造～」 安全学概論1, Meiji University Liberty Academy, 秋葉原サテライトキャンパス, Meiji University (2008-04)
- M.Mukaidono, 「安全規格の国内外の動向について」 Fuji Electric Advanced Technology, Japan (2008-04)

- T.Kariya, Keynote Speech 「サブプライム問題を考える」 京都大学経済金融シンポジウム『金融危機と今後の展望』, Kyoto University, Japan (2009-03)
- T.Kariya, 「サブプライム問題と金融システムのあり方」 JAFEE, Japan (2009-01)
- T.Kariya, 「サブプライム問題と金融危機」 日本証券計量工学学会研究発表会, 資料予稿集収録, Japan (2009-01)
- T.Kariya, 資料「グローバル金融市場の展望」 (独)経済産業研究所ワークショップ『サブプライム問題と金融危機』, Japan (2008-11)
- T.Kariya, 「価値創造 ERM と組織精神性資産」 日本価値創造 ERM 学会研究会, Japan (2008-10)
- 下麥光二郎, Hiroyuki Mori, 「系統再構成とキャパシタ制御を考慮した三相不平衡配電系統損失最小化問題の解法」 平成 21 年電気学会全国大会予稿集, 論文番号 6-025, Japan (2009-03)
- 金岡大介, Hiroyuki Mori, 「インテリジェントシステムを用いた天候リスクスワップの等価性の検証とプライシング」 平成 21 年電気学会全国大会予稿集, 論文番号 6-117, Japan (2009-03)
- 関康太郎, Hiroyuki Mori, 「三相不平衡配電系統における前処理付き反復法を用いた連続型潮流計算」 平成 21 年電気学会全国大会予稿集, 論文番号 6-114, Japan (2009-03)
- 梅澤康士, Hiroyuki Mori, 「アンサンブル学習を用いた電力価格予測」 平成 21 年電気学会全国大会予稿集, 論文番号 6-103, Japan (2009-03)
- 室井貴行, Hiroyuki Mori, 「確率近傍選択タブサーチを用いた配電系統復旧制御」 平成 21 年電気学会全国大会, 論文番号 6-026, Japan (2009-03)
- 蔣文駿, Hiroyuki Mori, 横山隆一, 「因果関係を考慮した短期排出権価格のリスク解析」 平成 21 年電気学会全国大会, 受付番号: 6-910, Japan (2009-03)
- 蔣文駿, Hiroyuki Mori, 「前処理付きカーネルマシンを用いた短期電力負荷予測の信頼区間推定」 平成 21 年電気学会全国大会, 受付番号: 6-920, Japan (2009-03)
- 吉田尚史, Hiroyuki Mori, 「確率的な配電系統拡張計画に対する Multi-objective Memetic Algorithm の適用」 平成 21 年電気学会全国大会予稿集, 6-013, Japan (2009-03)
- 石橋直人, Hiroyuki Mori, 「電圧安定度解析のための負荷マージン推定」 平成 21 年電気学会全国大会予稿集, 6-091, Japan (2009-03)
- 高橋輝, Hiroyuki Mori, 「最適回帰二進木と最適化した ANN を用いた電力価格予測」 平成 21 年電気学会全国大会予稿集 6-101, Japan (2009-03)

- 大川健太, Hiroyuki Mori, 「発電機の起動停止計画のための TS と EPSO を用いた新しい開発手法」 平成 17 年電気学会全国大会予稿集 6-046, Japan (2009-03)
- 下麥光二郎, Hiroyuki Mori, 「GRASP-GA による信頼度を考慮した送電系統拡充計画」 平成 20 年電気学会電力・エネルギー部門大会, 論文 I, 論文番号 34, Japan (2008-09)
- 金岡大介, Hiroyuki Mori, 「Relevance Vector Machine を用いた短期電力負荷予測のための気温予測」 平成 20 年電気学会 B 部門大会, 論文 I, 論文番号 1, Japan (2008-09)
- 蔣文駿, Hiroyuki Mori, 「排出権取引のためのインテリジェントシステムを用いたリスク評価法」 平成 20 年電気学会 B 部門大会, 論文 I, 論文番号 5, Japan (2008-09)
- 室井貴行, Hiroyuki Mori, 「確率的近傍選択を用いた TS による配電系統復旧制御アルゴリズムの開発」 平成 20 年電気学会 B 部門大会, 論文 I, 論文番号 27, Japan (2008-09)
- 蔣文駿, Hiroyuki Mori, 「グラフィカルモデリングを用いたマーケットゾーンの因果関係の解析」 平成 20 年電気学会 B 部門大会, 論文 II, 論文番号 103, Japan (2008-09)
- 室井貴行, Hiroyuki Mori, 「ネットワークの複雑性理論に基づく電力システムのメータ配置」 平成 20 年電気学会 B 部門大会, 論文 II, 論文番号 168, Japan (2008-09)
- 石橋直人, Hiroyuki Mori, 「電力価格時系列データにおける類似性の抽出」 平成 20 年電気学会 B 部門大会, 論文 II, 論文番号 111, Japan (2008-09)
- 大川健太, Hiroyuki Mori, 「ハイブリッドメタヒューリスティクスを用いた発電機の起動停止問題の解法」 平成 20 年電気学会 B 部門大会, 論文 II, 論文番号 120, Japan (2008-09)
- 吉田尚史, Hiroyuki Mori, 「不確定性を考慮した配電系統拡張計画」 平成 20 年電気学会 B 部門大会, 論文 II, 論文番号 233, Japan (2008-09)
- 蔣文駿, Hiroyuki Mori, 「グラフィカルモデリングを用いた短期排出権価格のリスク評価法」 電気学会電力技術研究会資料, 資料番号 PE-08-98/PSE-08-107, Japan (2008-09)
- 室井貴行, Hiroyuki Mori, 「トポロジー可観測性改善のための複雑ネットワークによるメータ配置法」 平成 20 年電気学会電力技術・電力系統技術合同研究会, PE-08-72/PSE-08-81, Japan (2008-08)
- 吉田尚史, Hiroyuki Mori, 「メタヒューリスティクスを用いた確率的な配電系統拡張計画」 平成 20 年電気学会電力技術・電力系統技術合同研究会, PE-08-89/PSE-08-98, Japan (2008-08)
- 大川健太, Hiroyuki Mori, 「発電機の起動停止問題への二層メタヒューリスティクスの適用」 平成 20 年電気学会電力技術・電力系統技術合同研究会, 資料番号 PE-08-87・PSE-08-96, Japan (2008-08)

- 石橋直人, Hiroyuki Mori, 「類似性を考慮した電力価格時系列データのクラスタリング」平成 20 年電気学会電力技術・電力系統技術合同研究会, PE-08-101/PSE-08-110, Japan (2008-08)
- Ryo Kobayashi, “A Mathematical Model of Amoeboid Locomotion”, International Conference for Nonlinear Science, Sapporo Winter School, Hokkaido University, Japan (2009-02)
- Ryo Kobayashi, “A Mathematical Model of Amoeboid Locomotion”, Mathematical Understanding of Complex Systems arising in Biology and Medicine, Meiji University, Japan (2008-10)
- Ryo Kobayashi, “A Mathematical Model of Amoeboid Locomotion”, Dynamics Days Asia Pacific 5, Nara, Japan (2008-09)
- R. Kobayashi, A. Tero and T. Nakagaki, “Patterns and Computations in Biological Systems—True Slime Mold—”, Czech- Japanese Seminar in Applied Mathematics 2008, Takachiho, Miyazaki, Japan (2008-09)
- Ryo Kobayashi, “A Mathematical Model of Locomoting Amoeba”, The Second China-Japan Colloquium of Mathematical Biology, Okayama, Japan (2008-08)
- Kaoru Arakawa, “Introduction of Interactive Evolutionary Computing to Nonlinear Filters for Images Considering Human Subjective Assessment”, 2008 International Workshop on Smart Info-Media Systems in Bangkok(SISB) 2008, Japan (2009-03)
- 加藤雅人, Kaoru Arakawa, 「遺伝的アルゴリズムを用いた雑音残響下でのブラインド信号分離」 2009 年電子情報通信学会総合大会, A-4-23, IEICE, Japan (2009-03)
- 中井義, Kaoru Arakawa, 「ブロックマッチングを用いた経年変化顔画像の人物認識法」 2009 年電子情報通信学会総合大会, A-20-3, IEICE, Japan (2009-03)
- 板谷晋平, 井口幸洋, Kaoru Arakawa, 「ε-フィルタバンクの FPGA 実現と顔画像美肌化への応用」 2009 年電子情報通信学会総合大会, A-20-2, IEICE, Japan (2009-03)
- 鈴木雅之, 玉手慎也, Kaoru Arakawa, 「脳波解析による文章黙読時の感性評価」 電子情報通信学会研究技術報告, SIS2008-90, pp.101-105, IEICE, Japan (2009-03)
- 中井義, Kaoru Arakawa, 「部分的な一致度を用いた経年変化顔画像による人物認識法」 電子情報通信学会研究技術報告, SIS2008-87, pp.85-90, IEICE, Japan (2009-03)
- 加藤雅人, Kaoru Arakawa, 「雑音残響環境における混合音声分離のためのブラインド信号分離の一手法 ～ 遺伝的アルゴリズムの導入 ～」 電子情報通信学会研究技術報告, SIS2008-81, pp.55-60, IEICE, Japan (2009-03)
- 京谷尚樹, 千嶋健太, Kaoru Arakawa, 「動画美肌化処理システムの DSP による実装」 第 10 回 DSP 教育者会議, pp.63-64, Japan (2008-09)

- 京谷尚樹, Kaoru Arakawa, 「ベイズ推定と定常-非定常分離フィルタを用いた音声の突発性雑音除去」 2008年電子情報通信学会ソサイエティ大会, A-20-6, IEICE, Japan (2008-09)
- 千嶋健太, Kaoru Arakawa, 「ハフ変換を用いた映像フィルムスクラッチ修復の一手法」 2008年電子情報通信学会ソサイエティ大会, A-20-4, IEICE, Japan (2008-09)
- 中井義, Kaoru Arakawa, 「経年変化を含む顔画像による個人認証の一手法」 2008年電子情報通信学会ソサイエティ大会, A-20-3, IEICE, Japan (2008-09)
- 板谷晋平, 馬志端, 井口幸洋, Kaoru Arakawa, 「 ϵ -フィルタのFPGA実現と顔画像美肌化への応用」 2008年電子情報通信学会ソサイエティ大会, A-20-1, IEICE, Japan (2008-09)
- Kaoru Arakawa and Kohei Nomoto, "Nonlinear Denoising Filter for Images with Interactive Evolutionary Computing Considering the Subjective Assessment", International Workshop on Multi-Media Signal Processing, pp.10-14, Japan (2008-06)
- 京谷尚樹, Kaoru Arakawa, 「定常-非定常分離フィルタを用いた音声からの突発性雑音除去の一方式」 電子情報通信学会研究技術報告, SIS2008-14, IEICE, Japan (2008-06)
- Hiraku Nishimori, "Mathematical Model for the Foraging Tactics of Ants Colony under Unsteady Food Supply" in Sapporo Winter School, Sapporo, Japan(2009-02)
- Hiraku Nishimori, "Optimal Foraging Path of Ants under Dynamical Feeding", in International workshop on biological group behaviors and nonlinear dynamics Hokkaido University, Sapporo, Japan (2008-09)
- Tatsuo Shibata, "Self-organisation in chemotactic signaling for spontaneous cell migration of Eucaryotic cells", The 3rd International Workshop on Systems Radiation Biology, Rovaniemi, Finland, (2009-01)
- T. Shibata, 「細胞スケールの自己組織化現象を1細胞イメージングによる定量データと数理モデルにより解明する」 定量生物学の会 第1回キャラバン, National Institute of Genetics, Japan, (2009-03)
- T. Shibata, 「ゆらぐ世界の定量生物学」 定量生物学の会 第1回キャラバン, National Institute of Genetics, Japan (2009-03)
- T. Shibata, 「Self-organization in chemotactic signaling of eukaryotic cells」 Meiji University Global COE Program 『Formation and Development of Mathematical Sciences Based on Modeling and Analysis』 Kick-Off Forum, Meiji University, Japan(2009-03)

- T. Shibata, 「1細胞の自己組織化現象を蛍光イメージデータの時系列解析と数理モデルによって解明する」 京都駅前セミナー, ～非線形現象の数理を考える～, キャンパスプラザ京都, Kyoto, Japan (2009-01)
- 西川正俊, T. Shibata, 「バクテリアの適応反応で生じるノイズと走化性」 2009年生体運動研究合同班会議, The University of Tokyo, Japan(2009-01)
- T. Shibata, 「生物学にとっての理論, 理論にとっての生命現象」 定量生物学の会, 年会, ワークショップ“A matter of wetting in the quantitative biology”, The University of Tokyo, Japan(2009-01)
- T. Shibata, 「『シグナル伝達と符号・暗号』 離散力学系の分子細胞生物学への応用数理」 Research Institute of Mathematical Sciences, Kyoto University, Japan(2009-01)
- T. Shibata, 「分子スケールから細胞スケールまで, 数理諸学と生物学の統合科学としての生命システム科学への挑戦」 INSAM シンポジウム, 数理シミュレーション科学プロジェクト研究センター, Hiroshima University, Japan(2008-12)
- 椿直輝, T. Shibata, R. Kobayashi, 「粒子法を用いた細胞運動のモデル」 INSAM シンポジウム, 数理シミュレーション科学プロジェクト研究センター, Hiroshima University, Japan(2008-12)
- Tatsuo Shibata, “Self-organization in chemotactic signaling for spontaneous cell migration of Eukaryotic cells” Integrating Physics, Chemistry, Mathematics and Biology to understand living systems (IPCMB 2008), Bose Institute, Kolkata, India (2008-12)
- 西川正俊, T. Shibata, 「Molecular noise can improve bacterial chemotaxis」 数理生物学会年会, Doshisha University, Japan (2008-09)
- T. Shibata, 新井由之, 松岡里実, 上田昌宏, 「細胞性粘菌の走化性シグナル伝達系における自己組織化現象の蛍光イメージ解析と理論的解析」 数理生物学会年会, Doshisha University, Japan(2008-09)
- T. Shibata, 「細胞スケールの自己組織化現象 イメージ・データ解析と数理モデル」 細胞・発生生物学研究への数理科学的アプローチ, Riken Center for Developmental Biology, Japan(2008-09)
- T. Shibata, 「走化性情報処理のゆらぎと協同性」 第60回日本細胞生物学会大会, Cell Structure and Function, パシフィコ横浜, Kanagawa, Japan (Jun.29-Jul.1,2008)
- Shibata Tatsuo, “Self-organization in chemotactic signal transduction of eukaryotic cell” International Workshop on Bio-Soft Matter, Koshiba-Hall, Univ. of Tokyo, Japan (2008-06)
- Toshikazu Sunada, Imperial College, London, U.K.(2009-03)

- T. Sunada, Universite Pierre et Marie Curie, France (2009-02)
- T. Sunada, University of Bielefeld, Germany (2008-12)
- T. Sunada, Humboldt University, Germany (2008-11)
- T. Sunada, Texas A&M University, U.S.A. (2008-11)
- T. Sunada, Max Planck Institute (Bonn), 幾何学セミナー, Germany (2008-10)
- T. Sunada, Max Planck Institute (Bonn), Oberseminar, Germany (2008-07)
- T. Sunada, University of Muenster Colloquium, Germany (2008-07)
- T. Sunada, University of Bonn 大域解析学セミナー, Germany (2008-04)
- Masayasu Mimura, “Free Boundary Problems related to Contact Inhibition”, Winter School on Recent Challenges in Medical Mathematics and Cancerology: Modeling and Mathematical Analysis, Japan (2009-02)
- M. Mimura, 「自然の中に数学を見つけよう」 SSH 講義, 広島大学附属高校, Hiroshima, Japan (2009-01)
- M. Mimura, 「シマウマにヒョウの模様が現れるか」 現代数学入門講座, 湘南国際村センター, Kanagawa, Japan (2009-01)
- M. Mimura, 「生き物の神秘—数学からの解明—」 SSH 講義, 沖縄県立開邦高校, Okinawa, Japan (2009-01)
- M. Mimura, 「自然の中にある数学を探る」 湘南数学セミナー, 湘南国際村センター, Kanagawa, Japan (2009-01)
- Masayasu Mimura, “Reaction-diffusion equations and Applications”, Colloquium, Institute of Mathematics, Academia Sinica, Taiwan, (2008-12)
- Masayasu Mimura, “Segregation Problems In Competition-Diffusion Systems”, 2008 年数学學術研討會・中華民國數學會年會, 清華大学, Taiwan (2008-12)
- Masayasu Mimura, “Transient self-organized patterns in biological and chemical systems”, International Workshop on Mathematical Biology, National Taiwan Normal University, Taiwan, (2008-12)
- M. Mimura, 「生き物の神秘—数学からの解明—」 特別講演会, 香川県立高松高校, Kagawa, Japan (2008-11)
- Masayasu Mimura, “Traveling Waves in Smoldering Combustion under Micro-Gravity”, PDE approximations in Fast reaction-slow diffusion scenario, Lorentz Center, University of Leiden, The Netherlands, (2008-11)

- Masayasu Mimura, “Competition-mediated coexistence for three species”, 2nd China-Japan Colloquium of Mathematical Biology, Okayama, Japan, (2008-08)
- Masayasu Mimura, “Pattern Formation arising in Transient Far From Equilibrium States”, Oscillations & Dynamic Instabilities in Chemical Systems, Gordon Research Conference, Colby College Waterville, ME, U.S.A., (2008-07)
- Masayasu Mimura, “Transient Asymptotics in Far from equilibrium Reaction-Diffusion Systems”, European Conference on Mathematical and Theoretical Biology, Edinburgh, Scotland, (2008-06)
- Kanya Kusano, Daikou Shiota, Satoshi Inoue, Tooru Sugiyama, Shinichiro Shima, Yoji Kawamura, Ryuho Kataoka, Takahiro Miyoshi, Eiji Asano, Takuma Matsumoto, Tatsuki Ogino, Kazunari Shibata, “Multi-scale Modeling of Solar Terrestrial Environment”, Space Climate symposium 3, Saariselka, Finnish Lapland, (2009-03)
- Kanya Kusano, Daikou Shiota, Satoshi Inoue, Ryuho Kataoka, Takahiro Miyoshi, Tetsuya Magara, Eiji Asano, Takuma Matsumoto, Tetsuya Yamamoto, Tatsuki Ogino, Kazunari Shibata, “Multi-scale Modeling of Solar Terrestrial Environment System”, Fifty Years after IGY- Modern Information Technologies and Earth and Solar Sciences, AIST(Tsukuba), Japan(2008-11)
- Kanya Kusano, “Data-Driven Simulation of Solar Eruption”, Workshop on Space Weather Modeling, KASI(Daejeon, Korea),(2008-10)
- Kanya Kusano, D.Shiota, S.Inoue, R.Kataoka, T.Miyoshi, T.Magara, E.Asano, T.Matsumoto, T.Yamamoto, T.Ogino, K.Shibata, 招待講演「太陽地球システムのデータ駆動連結階層モデリング：太陽爆発の予知可能性について」地球電磁気・地球惑星圏学会第 124 回総会・講演会, Japan(2008-10)
- Kanya Kusano, “A New Modeling Study to Understand the Impact of Cosmic Ray on Cloud Dynamics”, International Symposium of “From Genome to Snowball Earth, Metazoan Evolution and Habitable Planets: Multidisciplinary Relations” 科学未来館, Japan(2008-10)
- Kanya Kusano, スーパー・サイエンス・ハイスクール(SSH)宇宙地球科学研修, 広島大学附属高等学校講師, Hiroshima, Japan (2008-09)
- Kusano Kanya, Sugiyama Tooru, Inoue Satoshi, Shiota Daiko, Asano Eiji, Matsumoto Takuma, Kataoka Ryuho, Shibata Kazunari, “Multi-scale Interlocked Simulation of Solar Eruption”, 37th COSPAR Scientific Assembly, Montreal, Canada (2008-07)
- Kanya Kusano, Satoshi Inoue, Daikou Shiota, Eiji Asano, Takuma Matsumoto, Ryuho Kataoka, Kazunari Shibata, “Data-driven Simulation of Solar Flare and CME Initiation” AOGS2008, (Busan, Korea),(2008-06)

- Kanya Kusano, 招待講演「現象数理学と物理学 ～階層を超える科学を目指して～」 第1回 MIMS フォーラム『現象数理学の創造』, Shikon-Kan, Meiji University, (2008-06)
- Kanya Kusano, 招待講演「Cosmoclimatology 宇宙気候学～宇宙的視点から地球環境を探る～」 東京自由大学 地球温暖化防止シンポジウム『地球温暖化—宇宙からの視点』, Koshiba-Hall, The University of Tokyo, Japan(2008-06)
 - Kanya Kusano, D.Shiota, S.Inoue, R.Kataoka, E.Asano, T.Matsumoto, T. Ogino, K.Shibata, 招待講演「宇宙天気予報の基礎研究としての太陽地球システムの連結階層モデリング」 2008年日本地球惑星科学連合大会, 宇宙天気モデリング共同チーム, 幕張メッセ国際会議場, Tokyo, Japan (2008-05)
 - Kanya Kusano, Hiroki Hasegawa, Shigenobu Hirose, Yohji Kawamura, Akio Kawano, Shinichiro Shima, Toru Sugiyama, Daiko Shiota, Satoshi Inoue, Ryuho Kataoka, Eiji Asano, Takuma Matsumoto, Takahiro Miyoshi, Tatsuki Ogino, and Kazunari Shibata, “Study of Multi-scale and Multi-physics Dynamics with Macro-Micro Interlocked Simulations”, The 6th EU-Japan Joint Symposium on Plasma Processing (JSPP2008), Okinawa Convention Center, Okinawa, Japan (2008-04)
 - D. Ueyama, “Modeling and Simulation-Pattern formation of Liesegang type precipitation”, Meiji University Global COE Program『Formation and Development of Mathematical Sciences Based on Modeling and Analysis』 Kick-Off Forum ～現象数理学の新しい展開を求めて～, Shikon-Kan, Meiji University, (2009-03)
 - D. Ueyama, 「あるゲル内沈殿系におけるパターン遷移 —シミュレーション解析と実験からのアプローチ」 小研究集会 in 富山『反応拡散系における諸問題 2008』, Faculty of Science, Univ. of Toyama, Japan (2009-01)
 - Daishin Ueyama, “A simulation study of pattern transition in a precipitation system”, PDE approximations in Fast reaction-Slow diffusion scenarios, Lorentz Center, Netherlands, (2008-11)
 - Daishin Ueyama, “A simulation study of pattern transition in a precipitation system”, The Japan-France International Laboratory (LIA-197) ReaDiLab “Mathematical Understanding of Complex Systems arising in Biology and Medicine”, Shikon-Kan, Meiji University, (2008-10)
 - D. Ueyama, 「分岐解析ソフトウェア AUTO の教育研究における利用例の紹介」 数学ソフトウェアとフリードキュメント 07, Ookayama Campus, Tokyo Institute of Technology, Japan (2008-09)